



在宅看護における QOL の向上 ヘルスプロモーションの理念に沿った 健康教育

保健福祉学部 看護学科

講師 佐藤 公子 (さとう きみこ)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3415 号室
Tel 0848-60-1270 Fax 0848-60-1134
E-mail ksatou@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 地域看護学、公衆衛生学

キーワード： QOL、ヘルスプロモーション、健康教育、ソーシャルサポート

病のリスクファクターの特定ができ、健康を高めていく誘因となる「健康要因」を明確にすることができる。

●研究内容

- 近年、の価値観の多様化とともに対象者や家族が複数の治療を選択する必要が生じ、対象者の主観的な満足感や健康感といった生活の質「QOL」の向上が重視されるようになってきている。このため、対象者への看護支援には、「QOL: 患者が大切にしている生活の部分を把握し、そこに看護支援をしていくこと」を臨床で重要な指標とし、学生に理解させる指導の検討をおこなう。
- 個人のライフスタイルを考慮した自律度の向上、ストレスコントロール、コーピングを高める健康教育の構成
- ソーシャルサポートの有無による不安の増減についての検討

- ③ ソーシャルサポートが規模、密度、到達可能性といった「構造的」と、方向性、持続性、強度などの「機能面」から構成されることが理解できる。これによって、個人や集団を対象としたネットワーク形成時のスタッフ数、スタッフが接触する頻度、集団の人間関係などの構造が明らかになり心理面に対する支援活動の取り組みが容易になる。

●想定される連携先

- ① 地域住民
- ② 訪問看護ステーション
- ③ 保健所、市町村

●期待される成果と応用

- ① SF-36、SEIQoL-DW を指標として「QOL」を評価することで、患者が大切にしている生活分野の看護支援が QOL 向上につながるという視点を学生に学ばせる要因となる。
- ② 個人や集団の特徴に合わせた健康教育や健康増進の目標設定が可能となる。これらと関連して、第一次予防としての疾